教科	科目	必修／選択	単位数	指導学年
公民	政治・経済	選択	1+1	第3年次前期・後期

教科書・副読本・問題集 No.	分類	教材名
①	教科書	高校政治・経済（実教）
②	副読本	最新図説政経
③	問題集	4ステージ演習ノート政治・経済
④	自作教材	プリント教材
⑤	自作教材	視聴覚教材
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		

学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を培い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

教科からのメッセージ（学習方法 等）

教科書には抽象的な言葉が並ぶが、それを言葉として丸暗記するのではなく、実際の社会での具体的な事例と結びつけて理解することが重要である。日頃から社会事象に関心を持ち、ニュースなどに気をつけておくこと。また、知識の隙間を埋め、理解を深めるためには、センター試験の過去問などの良問を繰り返し解くことが重要である。

特記事項

必履修科目。「現代社会」または「政治・経済」「倫理」を卒業までに必ず履修しなければならない。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点		観点の趣旨	主な評価方法
A	関心・意欲・態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。	学習態度・意欲、課題提出、発表・発言等
B	思考・判断・表現	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。	課題提出、発表・発言、定期考査等
C	資料活用の技能	現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	課題提出、作業学習等
D	知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	定期考査、小テスト等
E			

年間（学期間）指導計画

学期	期間	教材	単元	配当時間	学習内容	評価観点	単元目標（CAN-DO）／単元（題材）の評価規準	主な学習活動	主な評価方法	評価
前期	第一中間まで	①②③④⑤	日本の統治機構 民主政治の基本原理	12	立法(ABCD) 司法(ABCD) 行政(ABCD) 地方自治(ABCD) 政治と法(ABCD) 民主政治と人権保障の発展(ABCD) 国民主権と民主主義の発展(ABCD) 世界の政治体制(ABCD)	A B C D	日本国憲法における国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観し、民主政治の本質や現代政治の特質について把握する。(ABCD) 議会制民主主義、地方自治などについて理解する。(ABCD) 基本的人権を尊重し擁護することの意義や民主政治の本質について理解する。(ABCD) 政治の在り方について広い視野から考察する。(ABCD)	ポイント確認 問題演習 作業学習 資料読解	定期考査 課題提出 出席状況 学習態度・意欲	5 4 3 2 1
	第二中間まで	①②③④⑤	現代日本の政治 現代の国際政治(1) 日本国憲法の基本的性格	12	戦後政治の歩み(ABCD) 選挙制度と政党(ABCD) 政治参加と世論(ABCD) 国際政治と国際法(ABCD) 国際連合と国際協力(ABCD) 日本国憲法の成立(ABCD) 平和主義(ABCD) 人権のひろがり(ABCD)	A B C D	政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治のあり方及び主権者としての政治参加のあり方について理解する。(ABCD) 国際法の変遷、国家主権・領土などに関する国際法の意義を理解する。(ABCD) 国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解する。(ABCD) 日本国憲法の成立過程及び基本的人権の保障について理解を深める。(ABCD) 日本国憲法が宣言する徹底した平和主義が，現実の政治と安保体制のなかでどのように展開したか理解する。(ABCD) 生命の尊重，自由・権利と責任・義務，人間の尊厳と平等などについて考察する。(ABCD)	ポイント確認 問題演習 作業学習 資料読解	定期考査 課題提出 出席状況 学習態度・意欲	5 4 3 2 1
	期末まで	①②③④⑤	現代の国際政治(2) 経済社会の変容	12	現代国際政治の動向(ABCD) 核兵器と軍縮(ABCD) 人種・民族問題(ABCD) 国際政治と日本(ABCD) 経済活動の意義(ABCD) 経済社会の形成と変容(ABCD) グローバル化と現代資本主義経済(ABCD)	A B C D	国際政治の特質や国際紛争の諸要因を把握する。(ABCD) 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について理解する。(ABCD) 経済活動とは何か，その基本を理解する。(ABCD) 現代の経済社会の変容について理解を深める。(ABCD) 経済がグローバル化した歴史的な推移，グローバル化による問題点を考察する。(ABCD)	ポイント確認 問題演習 作業学習 資料読解	定期考査 課題提出 出席状況 学習態度・意欲	5 4 3 2 1
後期	中間まで	①②③④⑤	世界経済と日本(1) 現代経済のしくみ	12	商品・資本の流れと国際収支(ABCD) 国際経済体制の変化(ABCD) 市場機構(ABCD) 現代の企業(ABCD) 国民所得と経済成長(ABCD) 金融のしくみ(ABCD) 財政のしくみ(ABCD)	A B C D	貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解する。(ABCD) 市場機構の機能と限界を理解し，市場の問題点を考察する。(ABCD) 個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。(ABCD) 経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。(ABCD) 金融，政府の役割と財政，租税について理解を深め，日本の経済政策の方向性を考察する。(ABCD)	ポイント確認 問題演習 作業学習 資料読解	定期考査 課題提出 出席状況 学習態度・意欲	5 4 3 2 1
	期末まで	①②③④⑤	世界経済と日本(2) 現代経済と福祉の向上	12	金融のグローバル化と世界金融危機(ABCD) 地域経済統合と新興国の台頭(ABCD) 国際協力と人間開発の課題(ABCD) 戦後復興と経済成長(ABCD) 経済の停滞と再生(ABCD) 日本の中小企業と農業(ABCD) 国民の暮らし(ABCD) 社会保障の役割(ABCD)	A B C D	グローバル化が進む国際経済の特質について把握する。(ABCD) 地域経済統合の動向と新興国経済が国際経済全体に与える影響を理解する。(ABCD) 国際経済における日本の役割について考察できる。(ABCD) 戦後の日本経済がどのようにして開始したかについて理解を深める。(ABCD) バブル経済とその崩壊，人口減少社会における課題について考察を深める。(ABCD) 日本の中小企業や農業の現状を理解し，その課題を考察する。(ABCD) 公害の発生原因と対策を通して，環境への取り組みや循環型社会について考察する。(ABCD) 消費者の立場や権利を確認し，消費者保護について考察する。(ABCD) 日本型雇用慣行が揺らぐ現代の労働市場において生じている諸問題を理解させる。(ABCD) 社会保障制度の発達を理解させ，少子高齢社会における諸課題を考察する。(ABCD)	ポイント確認 問題演習 作業学習 資料読解	定期考査 課題提出 出席状況 学習態度・意欲	5 4 3 2 1
	期末後	①②③④⑤	現代社会の諸課題	6	現代日本の政治や経済の諸課題(ABCD) 国際社会の政治や社会の諸課題(ABCD)	A B C	現代社会の諸課題を探求する活動を通して、望ましい解決のあり方について考察を深める。(ABCD)	課題探究	課題提出 出席状況 学習態度・意欲	5 4 3 2 1